

諏訪地方社保協ニュース

諏訪6市町村・諏訪広域と懇談行う 子どもの医療費助成、原村で完全無料化を実施!

国保税(料)引き上げ許すな!

二〇一七年度秋のキヤラバンは一月二十九日、三〇日の両日で六市町村に要望書を提出し、懇談を申し入れました。一月二日議事終了後の二五日に岡谷市での懇談が開始。一月からはこちらから積極的に連絡し、毎週の懇談を計画し、一月一日・原村、一八日・下諏訪町、二五日・茅野市、三〇日・富士見町、二月一日・諏訪市でそれぞれ懇談を行いました。

以下は要望書の項目ごとにまとめた報告です。

国民保険問題について

国保については今年も保険料引き下げ、子どもの均等割りの除外、一部負担減免、短期証発行などの問題について意見交換。滞納があつても「限度額適用認定証」などの発行を求めた新たな要望については市町村によって対応の違いが大きく、滞納があつても発行する下諏訪町、原則発行しないと強硬な

姿勢の諏訪市など大きな違いがありました。また国保単位化では引き上げの検討はしているが、激変緩和のために今まで通り一般会計からの繰入を行なう市町村と「繰入はしない。いずれ無くさないといけないので今までやつてこなくて幸い」と諏訪市は住民の苦しみに目を向けない姿勢に映りました。

介護保険について

介護保険関係では新総合事業の扱われ方や現状について意見交換、大阪府大東市や三重県桑名市で行われている「自立」「卒業」を強制する総合事業も紹介し、要支援者や総合事業対象者の切捨てが行われないようにしっかりとした対応をお願いしました。また要介護1・2の方の特養特例入所要件について諏訪広域特有の要件を設けていることが市町村との話して判明したので広域へはその是正検討を加



えた要望書を一月三二日に提出しました。

三月一四日、広域との懇談では「独自基準」はないこと。担当者会議で国の要件だけでは心もとないのでもう少し明確にという要望で現在の独自要件の「目安」がつけられたことが判明しました。

(詳細は広域懇談を参照)

子ども医療費完全無料化

子ども医療費助成については障害者の窓口無料化を実現することと同時に受給

者負担をなくし、窓口完全無料化を強く要請。原村には完全無料化に感謝しました。富士見町は高校生まで対象を引上げる代わりに受給者負担300円から500円へのアップを予定しています。現在の受給者への実質的な負担増になるのではないかと詰め寄りました。

今年度の大きな成果は富士見町を除いた五市町村と広域連合から回答書をいただいたことです。また回答書は事前提出してもらうことで当日説明の時間短縮と内容の精査ができるようになりました(岡谷市は当日回答にて来年は事前にと要望、原村は懇談後に回答書を郵送してもらいました)。

生存権裁判を支援する
長野県の会第4回総会
日時…4月22日(日) 13:30~16:00
場所…上田市・こぶし会館
記念講演…「生活保護基準引き下げ・
貧困増大で今何が起きているか、
そのたたかいいについて」
講師…村上晃弁護士